

昭和七年度

殖民地通信統計

郵務局業務課庶務係

郵務局業務課庶務係

南洋

(一) 郵便、電信及電報局所 昭和八年三月末日現在

種別	局所数			
	郵便	電信	電報	無線電信
郵便局	八	八	八	二
電信局				
無線電信局				
電報局				
總計	八	八	八	二

備考

南洋廳

- 一、郵便局ニ等級ヲ附セズ
八局ノ内特定局一ヲ含ム(テニアン局)
- 二、郵便物(サイパン郵便局ヲ除ク)ハ總テ郵便局窓口に於テ交付シ配達ヲ爲サス
- 三、各局共電報配達ヲ行フ但シ一局(サイパン)ヲ除クノ外別使配達ヲ爲サス

(青田納)

改良手帳全葉原紙

改頁中紙全数訂紙

(一) 郵便電信電話官署職員昭和八年三月末現在

備考	員		長	
	養任		判任	
	男	女	男	女
			八	八
	六三		四	四
	一〇七			
南洋廳	所屬		所	
	集配手		連送手	
	男	女	郵便手	通信夫
			一	二
	四	二		
	五八			
	一七三			
	總計			

南洋廳
 一、員長判任中特定員長一(ティーン)ヲ含む
 二、通信夫ハ連信省ニ於ケル集配手郵便手ノ職
 等ニ從事ス

南洋廳

(書田納)

一八	賣期所	收入印紙	郵便切手及 收入印紙
一	賣期所	收入印紙	郵便切手及 收入印紙
一九	柱	郵便	郵便切手及 收入印紙
一四	函	函	郵便切手及 收入印紙
一	設備	私書	郵便切手及 收入印紙
一	貸與	函	郵便切手及 收入印紙

(三) 切手印紙賣期所及郵便函數 昭和八年三月末現在

改訂半紙全覽原紙

km 52

	水		鐵道	通常道路	種別	郵便線路
	湖上	川上				
南洋廳			八七〇		実里(哩)(哩)数	昭和八年三月未現在 延里(哩)(哩)数
			二六七、七九〇		八七〇	
總計			八七〇		二六七、七九〇	

4,111
16,140

(菅田納)

改頁半紙全葉野紙

(五) 通商郵便引受物数 昭和七年度中

種別	有料	無料	計	
			計	計
普通	九九九三三	三、五一四、一三九、七二七	九九九三三	三、五一四、一三九、七二七
書留	一六三五	一、六〇二、一七八、五三三	一六三五	一、六〇二、一七八、五三三
價格通貸	一九〇	一六九	一九〇	一六九
表記其他	四	四	四	四
總計	三、五、六、四八	三、三、二、八五、一四七、九三三	三、五、六、四八	三、三、二、八五、一四七、九三三
代金書留	二六	二六	二六	二六
引換價格表記				
別取達				
引受時期証明				
種別	有料	無料	計	計
郵便	一三三	一三三	一三三	一三三
内寄証明	一三〇		一三〇	一三〇
新設書類及特許書類				
約方一種				
約方三種				
約方四種				
郵便其他				
計	二、三、五、三	二、三、五、三	二、三、五、三	二、三、五、三

南洋廳

様式中該欄ヲ省略シアルハ管内ニ於テ取扱ヲ為ササルモノトス

(六) 逋常郵便交付物数

昭和七年度中

種別

普通

書留

價格表記

總計

一六六八、二四一 (内取遣 八〇、三四二)

一七、八五一 (内取遣 六、八八九)

二三一 (内取遣 一、〇九)

一六八六、三三三 (内取遣 八、八二四)

四五三八

四八一

一

一

前代	代書	引換
箱留	箱留	引換不能
中引	中引	引換
再引	再引	引換不能
場換	場換	引換不能

様式中設欄ヲ省略シテ了ルハ管内ニ於テ取扱

南洋廳

ヲ為サザルモノトス

一〇(一) 電信機軸及電池 昭和八年三月未現在

改訂半紙全要簿紙

種		別		座	箱		箇	致
機	機	二重	單信		池	電		
音響機	現成機							
		二重	單信			トレ		
					二次電池	レクラン		一八

南洋廳

(曹田納)

一〇二
(二)

無線電信機及二次電池

昭和八年三月末現在

改頁半紙全覽表

種 別		座 数	種 別		座 数
真空管式送信機	一	二	十時間率 一五七。アンペア時	二五〇	
誘磁式花火式送信機	〇	一	六四〇	一一五	
二次電池 (甲)			五六〇	二二五	
			八〇	一一〇	

南洋廳

(野田精)

(二) 電話線軒數

昭和八年三月末現在

種別	架空線		架空ケーブル		計
	線路	線條	線路	線條	
市内	二〇	八三	三	一八七	二〇
市外	一	一	一	一	二
	二〇	八三	三	一八七	二〇
					(線路延長)
					(線條延長)
					(線路延長)
					(線條延長)
					(線路延長)
					(線條延長)

改頁半紙全書附紙

南洋廳

(青田納)

(三)

電話加入者数

昭和八年三月末現在

改頁半紙全簿紙

合計	連接	共同	單獨	加入者	加入申込者
三七	五	一	三二	一	一

南洋廳

(曹田勝)

(四) 電話機械及電池 昭和八年三月末現在

改訂年表全覽要版

電 話 機 械				文 換 機 械				種 別	座 数
總 計	自 働	卓 上		普 通	總 計	市 外 線 回	自 働 式		
		乙 席	甲 席						
三五四	一七一	三	三二	一四八	三	一	一	二	
				電 池				種 別	箇 数
				總 計	二 次 電 池	レ ー ン シ ー	乾 電 池		
								四七〇	二七

南 洋 廳

(青田納)

(五) 電話通話及呼出数 昭和七年度中

改定半紙全簿原紙

種	別		度 (時) 数
	市内	市内	
加入者相互間呼数	有料	無料	二二五五、五四二度
	無料	有料	
非加入者発信 通話時数	有料	無料	二二度
	無料	有料	
呼出請求件数	有料	無料	1
	無料	有料	

備考

市外該当事項ナシ

南洋廳

(青田納)

大正十四年四月三十日附度第三一六號通牒ニ依ルル
一、電話機數

有料電話

加入者電話機數 三〇〇
同上増設電話機數 二三
通話所電話機數 二

無料電話

加入者電話機數 二七
同上増設電話機數 四

私設電話機數(官應用私設ノ合メ入ル)

但シ一般交授線ニ接続シ得ルルカノ數

南洋廳

二、電話収入

通話料

市内通話料(市内呼出料共) 一四一〇錢
市外通話料(市外呼出料共) 一
其ノ他總収入 二一、七三七、四七九錢

但シ諸類電話料付金、電話至急通話料
及電話建設寄附金ヲ除ク

三、人口五万以上ノ都市名及其ノ人口並加入者電話機
數